

2025 年度事業計画書

株式会社仙台天文サービス

1 マネジメント業務

(1) 業務目的

施設のミッション推進, 組織力強化, 人事人材管理の実施。

(2) 業務内容

①SPC 調整会議

仙台天文サービス構成企業間で, 現場レベルでの調整が必要な事項について打合せを行う。

〇月に1度開催。

②ガバナンス会議の運用

台内の所属会社の違う部署間の調整を適宜行う。

〇台長・副台長(運営マネジャー)・ヘルプデスク・維持管理マネジャーの構成員が発議をした際に開催。

③コアスタッフ会議の運用

運営担当企業内の運営方針管理及び情報共有・問題点の洗い出しを行う。

〇台内会議日およびコアスタッフが発議した際に開催。

④台内会議の運用

スタッフ間で予定の確認及び活動の振返りを行い, 維持管理・運営の質を担保する。

〇月に1度開催。

⑤全体会議の運用

運営担当企業のスタッフで, 運営内容の確認や改善の方向性を確認する。

〇月に1度開催(台内会議日)。

⑥総務会議, 企画交流会議の運用

総務係及び企画・交流係の担当部署毎に, 運営内容の確認や改善の方向性の確認及び研修等を行う。

〇それぞれ月に1度開催

⑦週末会議の運用

土曜日から翌週の金曜日までの予定についてスタッフ間で共有をする。

〇毎週金曜日に開催。

⑧朝礼の運用

当日の予定等や確認事項についてスタッフ間で共有をする。

〇開館日の開館前に開催。

⑨セルフモニタリング及びヒヤリング

契約書に基づき, 維持管理・運営業務に関わる要求水準を履行しているかのセルフモニタリングを行う。

またその報告に対する仙台市のヒヤリングに対応する。

〇双方, 月に1度の提出と対応。

⑩中長期計画の策定

運営要求水準書に基づき, 施設ミッション達成のための中期計画を策定する。また, 中期計画策定時に

長期計画の見直しを行う。

○2023-2025 年度の長期計画および中期計画の運用

○2026-2028 年度の長期計画および中期計画の策定

⑪年間事業計画の策定

指定管理者協定に基づき中期計画に即した年間計画を策定する。

○毎年策定し、前年度 3 月中に仙台市に提出する。

⑫予定管理

見通しを持った維持管理・運営を行うために、年間予定を策定する。

○前年度の 1 月末までに大枠を決定する。

⑬予算管理

構成企業毎に、適宜予算の管理を行う。

⑭個人情報の管理

年に 1 度研修を行うとともに、「個人情報取扱特記事項」に基づき常時管理を行う。

⑮スタッフ研修

スタッフのスキルアップ研修を台の内外にて実施し、スタッフ間で共有する。

⑯マニュアル作成（標準化）

業務マニュアル（標準書及び要素技術一覧）を作成し、業務の標準化を図る。

⑰勤怠管理

出勤予定表及び週予定表を作成し、スタッフの勤務計画を立て、それに基づいた管理を行う。出勤予定表は前年度までに策定。週予定表は前月までに策定。変更については随時更新。

⑱週計画作成

勤怠及び交番を明確にするために、週毎の予定表を作成する。週予定表は、前月までに策定する。

⑲アルバイト管理及びシフト管理

アルバイトのシフト調整、勤怠管理を行う。シフト調整及び勤怠管理とも月に 1 度行う。また、勤務調整は適宜行う。

⑳福利厚生（雇用・会社福利厚生関係）

スタッフの雇用や福利厚生の対応をする。

㉑オーナーサポーター運営・管理

天文台を資金・物資の面でサポートしてくださる企業及び個人を募り、その資金等を運用する。

○随時募集を行い、物品については都度活用を行う。

○資金は主に中期計画における具体的活動への活用を図り、その結果を出資者に報告する。

㉒学会等関連団体への加盟と連携

学会や関係団体に加盟するとともに、研修及び情報発信を行う。

○加盟団体は以下のとおり

日本天文学会, 日本博物館協会, 全国科学博物館協議会, 全国科学館連携協議会, 天文教育普及研究会, 日本公開天文台協会, 日本プラネタリウム協議会, 宮城県博物館等連絡協議会, 仙台・宮城ミュージアムアライアンス

○11月17日-19日「全国プラネタリウム研修会」実施。

②諸団体との連携協定の管理

大学, 研究団体, 社会教育施設, 天文愛好家等と連携協定を結び, その管理を行う。

④アンケートの計画, 実施および分析

来館者にアンケートを依頼し, 業務改善の一助とする。

○天文台へのロイヤリティを測るアンケート (NPS)

○天文台学習に関わるアンケート (通年)

○各業務の個別アンケート (適宜実施)

⑤危機管理

自治体のガイドラインや危機管理マニュアルに基づき対応する。

⑥台長業務

○職員の統括, 人材育成, 研修

○各種会議 (関係者協議会・事業推進部会・維持管理運営分科会, SPC 取締役会, SPC 部会, SPC 調整会議, 台内会議, ガバナンス会議) 参加

○各種企画・交流業務補助等

○各種専門学会等への参加

○防火管理者担当

○セルフモニタリング承認

○各種渉外業務

⑦中期計画に関する取組み

○B1-1 天文体験や交流を重視したプログラムの充実

・エクスペリエンスサークルによる深い学びの提供

月	テーマ	展示	プラネタリウム	望遠鏡
2	月食	展示ツアー 「月の色はなぜ赤い？」 ※2026年2月2日-3月3日 休館日を除き毎日実施	星空の時間 「今夜の星空散歩」 ※2026年2月2日-3月3日 休館日を除き毎日実施	特別観測会 ※2026年3月3日 に実施

○D2-2 研究を支援する体制の構築

・企画・交流係スタッフの調査・研究スキル向上

2 活用促進業務

(1) 業務目的

宇宙への興味・関心が薄い層に様々な切り口で天文台の魅力を発信し、施設の活用を促す。

(2) 業務内容

①VIの管理と活用

ブランドデザインガイドに従いVIを管理・活用することで、ブランド価値の向上を図る。

②天文台まつり

天文台の開台を記念し、毎年2月に「天文台まつり」としてイベントを開催する。

〇2025年度は2026年1月31日（土）、2月1（日）に開催

③多様化するニーズへの対応

〇受付やプラネタリウムにおける多言語対応

〇自販機や展示物への点字貼付による視覚障害者対応

④サタ☆スタ

天体観望会とともに、土曜の夜ならではのイベントを実施し、賑わいを創出する。

期間	時間	タイトル	場所	内容
通年	17:00-17:45	トワイライトサロン (無料)	オープンスペース	名誉台長による宇宙が身近になる話
	18:00-18:45	プラネタリウム投映 (「星と音楽の時間」等)	プラネタリウム	一般向けの投映
	19:00-19:20	星まちタイム (無料)	天文プラザ他	天体観望会の観望天体についてご案内
	19:30-21:30	天体観望会	ひとみ望遠鏡観測室	ひとみ望遠鏡による天体観察
	19:40-	ナイトプラネタリウム	プラネタリウム	独自事業による投映

⑤施設活用イベント

アーティストや市民と宇宙をテーマにしたイベントを実施。また、貸館的な施設活用のひとつとしてユニークベニューを実施する。

月	日	曜	タイトル	出演者	場所	内容
6	7	土	ベビープラネタリウム	-	プラネタリウム	乳幼児とその保護者を対象にしたプラネタリウムの実施
9	6					
12	6					
3	7					

6月下旬 8月29日			七夕ディスプレイ	-	オープンスペース	仙台七夕や伝統的七夕などに関わる館内装飾を行う
7	19	土	希望の星 展示会 『「触れてみませんか。宇宙のロマンに。」—視覚に障害のある私たちの宇宙の楽しみ方—』	希望の星	オープンスペース	視覚に障害のある方々がどのように宇宙を見ているのかを展示やWS、制作物販売を通して知っていただく展示会
12	20	土				
8	30	土	ミュージックベルグループ「cara * cara」演奏会	cara * cara	オープンスペース	楽器「ベル」を使用した、「星」に関する曲目の演奏会
9月下旬 11月上旬			お月見ディスプレイ	-	オープンスペース	中秋の名月や後の月に関わる館内装飾を行う
10	5	日	ポリネシアンダンス2025	Marainoa	オープンスペース	星や月に関するポリネシアンダンスの披露
11	23	日	STAR&TRAIN 星と月と鉄道と 第4駅（フォース・ステーション）～夢という名の星～	描き鉄集団「口コ」	加藤・小坂ホール他	被災地の鉄道の復興の節目と星空をテーマとした絵画作品を展示するほか、ミニライブ、プラネタリウムで鉄道模型投映会などを行う
	24	月祝				
11月下旬 12月25日			クリスマスツリーディスプレイ	-	オープンスペース、プラネタリウム	クリスマスツリーの館内装飾を行う
不定期			スターライトウェディング（フォトウェディング）	リア・フィエユ（錦ヶ丘アーリー迎賓館）	プラネタリウム	プラネタリウムの貸館的事業としてフォトウェディングを行う
不定期			星★マルシェ	オフィスイー	オープンスペース	宇宙・天文に関する雑貨の販売やWSの実施

⑥記念事業

入館者達成式典や東日本大震災追悼イベント等の記念事業を実施する。

○開台 70 周年記念事業

- ・4-7 月：企画展示「(仮) 天文台 70 年の歩み」の実施
- ・4-7 月：星と音楽の時間にて特別放映「昭和の名曲とふりかえる あのころの宇宙」の放映
- ・オリジナル商品の開発
- ・各種広報物による周知など

○プラネタリウム震災特別番組の放映および全国配給

放映日	時間	タイトル	内容
通年 毎月第 1 土曜	19:40 -	星よりも、遠くへ	震災の星空と被災者たちとの繋がりを描いた「星空とともに」の第二章となる、プラネタリウム版ドキュメンタリー作品。

⑦商品開発

仙台市天文台のオリジナルグッズやコラボ製品を開発する。

⑧売店業者との調整

施設ミッションと顧客ニーズを意識した店づくりを推進する。

○ミュージアムショップ

- ・施設ミッションや運営内容を意識した新商品の開拓やオリジナル商品の開発

○そらカフェ

- ・顧客ニーズや施設運営に合わせた販売商品の展開

⑨中期計画に関する取組み

○A1-2 日常と天文とをつなぐ企画の実施

- ・施設活用イベントの実施

○E1-2 Well-being な事例の発信

- ・希望の星展示会の実施
- ・震災特別番組「星よりも、遠くへ」の放映

3 観測・研究業務

(1) 業務目的

市民の観測技術の向上を図る活動を行い、天文学に深く関わる人材を育成する。更には、関係機関と連携し、その成果を公開することで天文学の発展に寄与する。

(2) 業務内容

①天文台スタッフ観測

○天文台スタッフが観測研究テーマに基づく観測研究活動を行い、その結果を公開する。

②市民観測員育成講習（観測提案講習、教員研修等）

ひとみ望遠鏡の操作方法の習得も含め、教員等指導者の養成・研修目的も兼ねた観測を年 1 回以上実

施する。また、市民等が独自に観測活動を行えるようになることを目標とした講座を実施する。今年度は実際の観測を通して市民観測員として必要な技術のレクチャーを行う。

○小中教員研修会での望遠鏡操作講習（年1回、8月4日予定）

○市民観測員育成研修 ※対象者がいた場合に実施

③公募共同観測

ひとみ望遠鏡を活用した観測研究テーマに基づく観測提案を公募する。観測提案書の書類審査により、共同観測として観測提案に基づく観測研究活動を行う。

○三か月ごとに公募

④市民観測員観測

ひとみ望遠鏡の操作方法について天文台職員と同等の技術を習得し、天文台の望遠鏡活用指針に基づいた観測ができる市民を市民観測員として認定し、観測提案書の書類審査により、提案した観測テーマに関して、単独で観測研究活動を行う。

○該当者からのプロポーザル提出があれば実施

⑤大学・関係機関との共同観測、連携観測

新天体の発見観測の確認作業や追跡作業、貴重な天体現象等の連携観測、大学等からの共同観測・研究の依頼があった場合は、台内で観測内容、観測期間、使用観測機器等を検討し、可能な範囲で協力する。

○環境省「デジタルカメラによる夜空の明るさ調査」（年2回）

○国内外で発見される新天体の確認観測・追跡観測（随時）

○国内外の、大学や天文台等の天文学関係機関が行う天体観測活動への協力（随時）

⑥ひとみ望遠鏡体験観測、天文学者体験観測

天体観測に関心の高い市民が観測技術や天文学の知識の程度に応じて技術向上等を図れるよう、研修を目的とした観測を年2回以上実施する。

○観測技術向上を図るための研修目的の観測（年2回）

・東北大学「もしも君が杜の都で天文学者になったら…」

東北大学大学院理学研究科天文学専攻との共同開催。全国各地から参加した高校生が自らテーマを考え、大学院生や大学生の協力を得ながら天文学の実習として観測と解析を行い、研究発表までを行う。

・東北大学地学専攻と共同で、限定した中高生を対象にひとみ望遠鏡を使った集中的な研究観測体験を実施(10-12月の予定)

⑦インターネット望遠鏡体験会

仙台市内の小・中・高等学校の児童・生徒が学校のパソコンからインターネット等を利用して大型望遠鏡を利用できるようにする。

○夜間でも児童・生徒が集まりやすい学校を会場として、インターネットをその場にいながらひとみ望遠鏡を遠隔操作し、ひとみ望遠鏡に装着したビデオカメラの天体映像を配信する（7-8月学校夏期休業期間中）。

○他施設のインターネット望遠鏡活用事例を集め、今後の活用方法について検討する。

⑧観測以外の研究支援

大学・研究機関や市民を対象として、「天文」や「天文台」に関係したテーマでの研究を公募し、市民の研究活動を支援する。

○随時募集し、プロポーザル提出があった場合に実施

⑨研究・実践紀要作成

年度毎に研究や実践についての報告を行う。

月	日	曜	時間	タイトル	内容
4		6	天体ごとに 設定	スタッフ観測 ・かんむり座 T 星の分光観測	・近日中に増光が予想されている再帰新星 T Crb の分光観測を行い、スペクトルの変化を見る
6		12		スタッフ観測 ・はくちょう座 X-1 の質量調査 はくちょう座 X のスペクトル変化	・はくちょう座 X-1 の分光観測から X-1 の質量を求められるかを調査する ・X Cyg の分光観測から、スペクトルの変化を見る
10		12		スタッフ観測 ・系外惑星オシリスの検出可能性の調査	・ひとみ望遠鏡を用いて、系外惑星をトランジット法で観測できるかどうかを調査する観測を行う
5		9		スタッフ観測 ・短周期変光星の測光観測による光度曲線の取得(仮)	・明るくなることが予想されている彗星を、ひとみ望遠鏡で観測できるか調査する
時期未定				スタッフ観測 ・星団の HR 図作成(仮)	・複数の星団の年齢を調べ、HR 図を作成する
時期未定				スタッフ観測 仙台市の空の明るさのマッピング	市民が星空を観察する際の参考データとして仙台市の空の明るさのマッピングを行う
7-8 月, 1-2 月の新月頃			薄明終了後の 2 時間	関係機関との連携観測 ・デジタルカメラによる夜空の明るさ調査	デジタルカメラを用いて空の明るさの調査を行う
夏期休業期間			18:00 20:00	インターネット望遠鏡体験会 (現地実施)	市内小中高 1 校を対象に実施
8	4	月	9:00 	小中教員研修会での望遠鏡操作講習 (任意参加)	小中学校の教員を対象としたひとみ望遠鏡操作の実習

			12:30 21:00		
10-12月			18:00 20:00	東北大学地学専攻×仙台市天文台 研究観測体験講座（名称仮）	中高生を対象にしたひとみ望遠鏡を使った集中的な研究観測体験（東北大学地学専攻と共同実施）
12	21	日	12:30 21:00	天文学者体験観測「東北大もし天(もしも杜の都で天文学者になったら。。。)」	合宿形式で天文学者と同等の観測を行う （開校式・操作レクチャー 21日、観測予定日 23, 24日、観測予備日 25日、発表会 27日）
	23	火	22:00 27:00		
	24	水	18:00 27:00		
	25	木	18:00 27:00		
	27	土	12:30 17:00		
随時			公募共同観測 ・ 観察室ユーザーによる観測		随時募集 ・ 天体観測実践講座内で提案のあった観測を実施する。
随時			市民観測員観測		公募共同観測応募者の中から審査のうえ認定
随時			関係機関との共同、連携観測		依頼があった場合に対応
随時			観測以外の研究支援		依頼があった場合に対応

⑩中期目標に関する取組み

OA2-1 多くの市民の日常に天文情報を届ける

- ・仙台市の空の明るさのマッピングの成果発信

OD1-1 天文学探求プログラムの開発と実践

- ・限定した中高生を対象にひとみ望遠鏡を使った集中的な研究観測体験を実施

OD1-3 研究成果発表の場の提供

- ・市民観測員による研究成果を研究・実践紀要に掲載
- ・公募共同観測による研究成果を研究・実践紀要に掲載
- ・観測以外の研究支援による成果を研究・実践紀要に掲載

○D2-2 研究を支援する体制の構築

- ・研究支援ができるスタッフの育成

4 教育支援業務

4-1 学校教育業務

(1) 業務目的

様々な市民を対象として、それぞれに合った手法や内容で、学校教育で学習する天文分野の内容の理解が深まるよう支援する。

(2) 業務内容

①幼児天文台学習

幼稚園・保育所を対象にプラネタリウム投映、展示室見学、ひとみ望遠鏡見学を行う。

○目標値

89 団体(2024 年度実績)

○渉外

- ・(2026 年度分) 案内文書発送：2026 年 2 月初め
- ・(2026 年度分) 予約開始：市内 2026 年 2 月末、市外 2026 年 3 月初め

○プラネタリウム投映

○望遠鏡見学

②小学校天文台学習

学習指導要領に基づき、小学 4 年生と 6 年生を対象に学習プログラムを用意し、展示室・プラネタリウム・望遠鏡を用いた天文台学習を行う。

○目標値

217 校(2024 年度実績)

○渉外

- ・(2026 年度分) 案内文書発送 2026 年 3 月初め
- ・(2026 年度分) 予約開始：市内・市外共に 2026 年 3 月末
- ・打合せ（各学校にて事前に天文台ウェブサイト上の打合せ動画を閲覧）
- ・新学習指導要領に基づいた各学習投映プログラムの検討

○プラネタリウム投映

- ・小学 4 年生向け
- ・小学 6 年生向け

○望遠鏡見学

③中学校天文台学習

仙台市内の中学生を対象に、学習指導要領に基づいた天文台学習（悉皆）を実施する。

○目標値

74 校（2024 年度実績）

○渉外

- ・（2026 年度分）案内文書発送：2025 年 12 月中旬
- ・（2026 年度分）日程調整：2026 年 1 月中旬まで
- ・（2026 年度分）天文台科学館学習合同説明会：2026 年 2 月末
- ・中学校天文台学習の改訂プログラム作成・実施

○プラネタリウム投映

○望遠鏡学習

④その他の天文台学習

高等学校や特別支援学校などを対象に、天文台学習を行う。

- ・聴覚支援学校（小・中学部）
- ・視覚支援学校（中学部）
- ・拓桃支援学校（小・中学部）
- ・人来田中学校 旗立分教室
- ・仙台向山高校
- ・インターナショナルスクール

⑤学習配布物作成

子どもが楽しく天文知識を習得できるように学習配布物を作成する。

- ・天文台学習のしおり（小学 4 年生・小学 6 年生・中学生）の作成

⑥学校団体受入

学校団体の来館に際し、受入れ担当を配置し、安全かつ円滑に館内での移動やスケジュールが進められるようにする。

- ・安全に集合や移動ができるように配慮する。

⑦学校連携

学校現場と連携し、施設の活性化と学校教育における理科教育の充実と発展をさせる。

- ・連携授業（市内小学校・中学校との連携を検討）

⑧小中学校教員養成講習

市内小中学校教諭を対象に天文に関する基礎講義、学校における天文学習、屈折望遠鏡の使い方等の研修会を行う。

- ・8 月 4 日実施（教育センター主催）

⑨教科研究会への参加

教科研究会に参加し、天文台学習に関する情報提供や理科教育に関する情報収集を行う。

- ・例年 6 月に実施

⑩中期計画に関する取組み

OC1-1 小中高校における天文分野の学習支援

- ・新学習指導要領に則った学習内容で実施
- ・天文台学習の投映内容を学校現場で予習・復習できる教材を作成し提供する

OC1-2 学校教員等の天文指導者の育成に寄与

- ・教員研修会に関わる内容の復習ツールの作成と提供
- ・天文台学習が組み込まれた授業計画作成のための研修実施

4-2 生涯学習支援業務

(1) 業務目的

○天体観察や天文学の普及啓発への関心が高い市民が、各々の興味や特技を活かした活動を提案・実践できるように支援する。

○仕事としての天文普及活動に興味・関心がある方を対象に、知識・技能等に応じた実践的な経験・訓練を積む機会を提供することで人材育成に寄与し、博物館の役割を果たす。

(2) 業務内容

①スタッフサポーター養成講座

初心者を対象として天文台の活動をスタッフの一員として支援していただくスタッフサポーターを新規に養成する講座を開催する。

○活動に必要な知識や技術の基礎に関して、8月から3月までの毎月1回、第4土曜日に実施（全8回）。初回参加必須、8回中6回以上の受講で終了認定。

<スタッフサポーター養成講座>

	月	日	曜	時間	内容
第1回	8	23	土	14:00-16:00	開講式 天文台で大切にしていること（講話） コミュニケーショントレーニング（実習）
第2回	9	27	土	14:00-16:00	スタッフサポーターの活動紹介（講話） 天体観察の基礎知識①（講話）
第3回	10	25	土	14:00-16:00	天体観察の基礎知識②（講話）
第4回	11	22	土	14:00-16:00	天体望遠鏡の種類（講話・望遠鏡見学）
第5回	12	27	土	14:00-16:30	天体望遠鏡の使い方（講話・実習）
第6回	1	24	土	14:00-16:00	展示解説（講話・展示見学）
第7回	2	28	土	14:00-16:00	天文台学習支援（講話・実習）
第8回	3	28	土	14:00-16:00	ワークショップ（講話・ワークショップ体験） 閉講式 スタッフサポーター登録手続

②スタッフサポーター管理・運営

養成講座を終了しスタッフの一員としてサポート活動を希望する市民に登録いただく。

【個人】サポーター養成講座を終了した個人が、年間登録をし、1年更新となる。

【団体】活動内容に合わせた研修を受けた団体が、年間登録をし、1年更新となる。

③スタッフサポーターミーティング・学習会

個人スタッフサポーターについては、毎月ミーティングを行い、各自の活動の計画を立てたり、サポーター同士が交流したりする機会を設ける。また、スタッフが話題を提供し、天文台学習の展示学習のサポートのための研修やお客様とのコミュニケーションに関わる学習会等を行う。

<スタッフサポーターミーティング>

	月	日	曜	時間	内容
第1回	4	12	土	15:30-17:00	5月の計画 サポート研修（概要、各サポート活動）
第2回	5	10	土	15:30-17:00	6月の計画 サポート研修（移動天文台サポート）
第3回	6	8	日	14:30-16:00	7月の計画 サポート研修（展示解説）
第4回	7	12	土	15:30-17:00	8月の計画 サポート研修（望遠鏡組立て・操作）
第5回	8	16	土	15:30-17:00	9月の計画 スタッフからの話題提供
第6回	9	20	土	15:30-17:00	10月の計画 サポート研修（天文台学習）
第7回	10	12	日	14:30-16:00	11月の計画 サポート研修（展示解説）
第8回	11	8	土	15:30-17:00	12月の計画 活動の振り返り 新規スタッフとの交流（自己紹介／話題提供）
第9回	12	13	土	15:30-17:00	1月の計画 天文台まつり準備 スタッフからの話題提供
第10回	1	17	土	15:30-17:00	2月の計画 天文台まつり準備
第11回	2	15	日	14:30-16:00	3月の計画 スタッフからの話題提供

第 12 回	3	14	土	15:30-17:00	4 月の計画 顕彰（3 期生、8 期生、12 期生） スタッフサポーター継続登録手続
--------	---	----	---	-------------	--

④天文愛好家の活動支援

○活動場所の支援

事前に申請のあった天文愛好者へ学習室等を貸し出す。

○活動の場の支援

写真展や天体観望会など、天文愛好家としての活動の場を提供する。

⑤社会教育支援

○インターンシップ（随時）

希望があった場合、随時調整を行う。

○職場体験（随時）

【受入可能時期】11 月-3 月

【受入予定人数】1 日最大 3 名（同一期間 1 校のみ、最大 3 校程度）

○博物館実習（下記日程で実施）

【実施期間】8 月 18 日-24 日

【受入予定人数】数名程度

○その他

上記に該当しない項目での依頼があった場合、随時調整を行う。

⑥各種市民団体との連携

連携協定団体と協働事業を実施する。

○仙台天文同好会

- | | | |
|------------------|-------------|----------------|
| ・サタ☆スタ時（月 1 回程度） | 18:00-20:30 | 天体観望会 |
| ・GW 期間の 1 日 | 10:00-15:00 | 太陽を見る会 |
| ・9/28 | 10:00-15:00 | 仙台サイエンス&アート発表会 |
| ・1-2 月 | 開館中 | 天体写真展 |

○天文ボランティアうちゅうせん

- ・依頼観望会のオファー

⑦中期計画に関する取組み

○A1-1 展示交流活動の強化

- ・スタッフサポーターミーティングでの展示交流活動の研修と実践

○A1-2 日常と天文とをつなぐ企画の実施

- ・スタッフサポーターによる七夕装飾と WS の実施支援

○D1-3 研究成果発表の場の提供

- ・仙台天文同好会主催の研究成果発表会「仙台サイエンス&アート発表会」の開催支援

5 天文普及業務

5-1 展示業務

(1) 業務目的

様々な観測や天文に関する科学情報を分かりやすく編集・加工し表現する。また、宇宙に関する多様なテーマで市民と交流し天文への理解を深める。

(2) 業務内容

①展示交流

天文台スタッフと来場者が「天文を通じた交流」の中で理解を深めることができるよう公開時は展示室内に担当を配置し、定款的にコミュニケーション活動の機会を設ける。

②展示ツアー

土・日・祝日にテーマを決めて展示を活用した解説を行う。

なお、2月2日-3月3日は平日も含め毎日「月の色はなぜ赤い？」を実施。

③ワークショップ

天文台や宇宙との距離を身近に感じてもらうインタラクティブな普及活動として、以下のワークショップを開催する。

<ワークショップ>

月	日	曜	時間	タイトル	内容
毎月 第1日曜日			14:45 15:15	太陽のとおり道を たどろう！～アナ レンマのふしぎ～	継続的に同時刻の太陽の軌跡をたどると見えてくる形 を日時計に記録します。刻印時刻 15:00 ※悪天候時は翌週へ延期
4	26	土	12:20 12:40	星座を立体的に見 てみる	春の星座の星々の距離を縮尺であらわし、参加ととも に展示用立体模型をつくります。
7	26	土	12:20 12:40	星座を立体的に見 てみる	夏の星座の星々の距離を縮尺であらわし、参加ととも に展示用立体模型をつくります。
10	25	土	12:20 12:40	星座を立体的に見 てみる	秋の星座の星々の距離を縮尺であらわし、参加ととも に展示用立体模型をつくります。
1	24	土	12:20 12:40	星座を立体的に見 てみる	冬の星座の星々の距離を縮尺であらわし、参加ととも に展示用立体模型をつくります。

毎月第1土曜日 12:20-12:50	うちゅうの“ぐる ぐる”みつけ た！	天体の動きの法則性の1つである「まわる（回転）」 を実際に体感しながら楽しく学びます。
4/19,6/14,8/16,10/11 12/20, 2/21 14:30-15:30	“石”のひみつにせ まろう！	なぜ地球に隕石があるのか、隕石はどこからやってく るのかを、隕石と地上の岩石とを比較しながら考えま す。
5/10,7/19,9/20,11/22 1/17,3/21 14:30-15:30	太陽について調べ よう	太陽表面に見られる黒点をスケッチしてグラフにし、 太陽活動の特徴について調べます。

④展示情報端末の運用

取得した天文情報を来館者に分かりやすいように加工や解説を加えて、展示室内の情報端末にて公開する。

⑤企画展

期間を限定して常設展示以外のテーマ等を扱う下記の企画展を行う。

○自主企画展（随時）

天文をより身近に感じてもらうため、天文以外のテーマと天文を結びつけ、興味関心の間口を広げる。

○誘致企画展（随時対応）

加盟の全科協、連携協等の巡回展を利用し、天文に関する興味関心を喚起するような企画展を開催する。

○企画展示コーナー

・連携協定団体である東北大学理学研究科に協力いただき、最新の地球及び天文研究に関する情報を展示する。また、国立天文台水沢観測所、JAXA 角田宇宙センターの研究の成果や観測情報を展示する。

・4-7月：70周年企画展示／「(仮) 天文台70年の歩み」

・7-10月：企画展示「(仮) 重力波とブラックホール」

・11-1月：企画展示「(仮) 土星の環が極細」

○プレショーギャラリー展示

市民や社会教育施設とのコラボ企画の実施や天文愛好家の活動紹介など市民の天文への関心を高める場として以下の展示を行う。また、プラネタリウム出入口では入る前の期待感を高めたり投映に関連した内容を紹介したりしながら、星空やプラネタリウムへの関心を深める。

<企画展>				
開催期間	タイトル	場所	内容	協力等
4/2 6/29	写真展 マルモリ・ ナイト2025 ー 丸森町の星空に 魅せられて ー	プレショー ギャラリー	天体写真愛好家小檜山氏による天体 写真展	小檜山裕行

7/1 8/29	野草園×天文台コラボ企画展	プレショー ギャラリー	仙台市野草園による写真展	仙台市野草園
9/1 10/6	星空絵画展（仮）	プレショー ギャラリー	仙台出身のアーティストによる星空 絵画作品展	吉田ももこ
10/13 11/24	描き鉄集団口コ 原画展	プレショー ギャラリー	描き鉄集団口コによる原画展	描き鉄集団口コ
11/27 12/27	東北大学天文同好 会天体写真展「星 彩の一写」	プレショー ギャラリー	東北大学天文同好会による天体写真 展	東北大学天文同 好会
1 2	仙台天文同好会 天体写真展	プレショー ギャラリー	仙台天文同好会のみなさんによる天 体写真展	仙台天文同好会
3/2 3/31	震災特別展示創作 神話「そらのくじ ら」原画展	プレショー ギャラリー	創作神話「そらのくじら」の原画展	くどうひろこ
通年	プラネタリウムギ ャラリー	入口）・現在のプラネタリウム番組情報 ・今後のプラネタリウムイベント情報 ・プラネタリウム関連のポスター展示 出口）・今後のプラネタリウム番組情報		

⑥中期計画に関する取組み

OA1-1 積極的な交流活動により発見を促す

- ・展示交流に関する内部研修の実施

OA1-2 日常と天文とをつなぐ企画の実施・実践

- ・新規WS（3件）の定常化
- ・WS/月のクレーター生成実験の企画・実施

OC2-1 天文学を学べるプログラムの充実

- ・プラネタリウム「天文の時間『地動説－惑星の運行から考える宇宙の姿－』」と関連した展示ツアー「地動説を唱えた人々」の実施

5-2 プラネタリウム運営業務

(1) 業務目的

プラネタリウムの空間や機能を活用し、様々な世代の市民がそれぞれの興味・関心や天文学の知識レベルに応じて、わかりやすく宇宙・天文について学べる機会を提供する。

(2) 業務内容

① 星空の時間の企画・投映

今夜の星空とそれにかかわる天文の話題の紹介により、星の美しさや探し方など多様な楽しみ方を伝え、日常的に星空を見上げるようになってもらうことを目的とする。「今夜の星空散歩」は平日 16:00 の回(8-11月、2-3月)は 14:30 の回でも投映)、土・日曜日・祝日・学校長期休業期間の 10:00、13:00、16:00 の回で投映を行う。

投映期間	タイトル	内容
通年	今夜の星空散歩	今夜、仙台から見える天体や星座を紹介する。 とりあげる星座や天文の話題はスタッフによって異なる。
11月 16:00の回		今夜、仙台から見える天体や星座を紹介する。 また、土星の環（主に土星の環の消失のしくみ）をとりあげる。
2/2-3/3 平日 14:30 の回 土・日曜日・祝日 16:00 の回		今夜、仙台から見える天体や星座を紹介する。 また、月食（月が欠けるしくみ、2026 年 3 月 3 日の月食の様子）をとりあげる。

② 天文の時間の企画・投映

宇宙の謎に対する科学のアプローチを伝えることで、天文学のより深い世界へ足を踏み入れてもらうことを目的とする。2025 年度は新規で 1 本を制作し投映する。14:30 の回で投映を行う。

投映期間	タイトル	内容
4-7月	地動説 - 惑星の 運行から考える 宇宙の姿 -	星空での惑星の運動をシミュレーションで紹介しながら、天動説や地動説で提唱された宇宙像について考えてもらう。

③ こどもの時間の企画・投映

幼児（4 歳）から小学校 2 年生までの子どもとその家族を対象とし、星の世界に入り込み宇宙のふしぎを感じ取る体験を通し、星や宇宙に魅力を感じる子どもを増やすことを目的とする。土・日曜日・祝日・学校長期休業期間の 11:30 の回で投映を行う。

投映期間	タイトル	内容
通年	プラネくんとあそぼう！	遊びの天才「プラネくん」と一緒に星や宇宙とふれあいながら、宇宙の「なぜ？」を紹介する。

④ 星と音楽の時間の企画・投映

音楽ファンを対象とし、日常にある音楽と星や宇宙とのつながりを示し、宇宙への興味を喚起することを目的とする。土曜日の 18:00 の回で投映を行う。

放映期間	タイトル	内容
4-7 月	仙台市天文台 70 周年特別 放映 「昭和の名曲とふり かえる あのころの宇宙」	仙台市天文台開台 70 周年を記念して、開台した昭和 30 年以降のヒット曲とともに、時を同じくして発展した宇 宙開発の数々を紹介する。
8-11 月	星たちのロックフェステ ィバル	国内外のロック・ミュージックから星や宇宙に関連した 楽曲をお届けする。
12-1 月	リクエスト特集'24	市民から寄せられた星空と音楽のリクエストに応える。 夏頃から募集開始予定。
2-3 月	星空を旅する歌	大航海時代での南天への旅やファンタジー作品での宇宙 旅行に触れながら、時代や作品と繋がりを持つ旅の楽曲 をお届けする

⑤その他の放映の企画・放映

①～④のどの時間枠にも属さない、市民ニーズに対応した多様なプログラムを実施する。

放映期間	タイトル	内容・備考
4/19, 7/12 18:00 の回 (35 分間)	プラネタリウムワークシ ョップ「夜空の明るさを 考えてみよう」	夜空の明るさの仕組みがわかるワークショップ。光が星 空の見え方にどのように影響しているか体験してもら い、人工光等の増加によって夜空が明るくなっている事 実を普及する
8/23-29 16:00 の回	見上げて楽しむ伝統的七 夕	伝統的七夕の楽しみ方を紹介する。
10/4,5,6 16:00 の回	中秋の名月	中秋の名月の楽しみ方を紹介する。
8-11 月 土・日曜日・ 祝日 学校長期休業期 間 14:30 の回	ゆるキャン△ for プラネタリウム 星空キャンプにいこう！	女子高生たちのゆる～い野外活動を描いた人気アニメ『ゆる キャン△』シリーズがプラネタリウム番組となって登場。登 場人物たちがキャンプ場で見上げる星空をストーリーの 中に織り交ぜ、自然との楽しみ方を学んでいく番組。きっ と、誰かとキャンプしたくなる、そして誰かと星空を眺め たくなる…そんな作品です。
12-3 月 14:30 の回 ※2,3 月の平日は 除く	ECLIPSE THE MOMENTS OF WONDER	月は地球のまわりを約一カ月かけて一周します。その中 で太陽や惑星との位置関係が変わり、しばしば貴重な天 文現象が起こります。最も代表的なのが、月が太陽を覆 い隠す日食と、月が地球の影に入る月食です。他にも月 が金星を覆い隠す金星食、土星を覆い隠す土星食など、 惑星を覆い隠すこともあります。この番組ではそのよう

		な天文現象について、実際にそれらの現象を撮影した映像とコンピューターグラフィックスを利用して紹介しています。
--	--	--

⑥ナイトプラネタリウムの企画・投映

土曜の夜の「サタ☆スタ」の時間内に、プラネタリウムの機能や空間を活かした、様々なジャンルの映像作品を特別料金体系で実施する。

⑦障害者のための企画・投映

視覚障害者でも「星空の時間」の投映を楽しめるよう、星座の点図・点字を配備する。また、聴覚障害者でも「星空の時間」の投映を楽しめるよう、音声認識・自動翻訳アプリによる生解説のリアルタイム文字起こしを提供する。

⑧投映補助

投映中のお客様の安全を確保し、快適に過ごせるよう配慮する。投映補助者をプラネタリウム内に1名配置する。

⑨案内・誘導

プラネタリウム利用者（特に配慮が必要な利用者）を安全かつスムーズに案内する。

⑩中期計画に関する取り組み

○A1-1 積極的な交流活動により発見を促す

- ・星空の時間「今夜の星空散歩」の企画・投映
- ・こどもの時間「プラネくんとあそぼう！」の企画・投映

○A1-2 日常と天文とをつなぐ企画の実施

- ・「見上げて楽しむ伝統的七夕」「中秋の名月」の企画・投映

○B1-1 天文体験や交流を重視したプログラムの充実

- ・ナイトプラネタリウムにおいてスマートフォンでの星空撮影に関するレクチャー番組を実施
- ・天文の時間「地動説－惑星の運行から考える宇宙の姿－」の企画・投映

○C1-3 小中高校における天文分野の再学習機会の提供

- ・ナイトプラネタリウムにおいて天文台学習の投映内容を一般向けに実施

○E1-2 Well-being な事例の発信

- ・プラネタリウムワークショップ「夜空の明るさを考えてみよう」の企画・実施

5-3 望遠鏡業務

(1) 業務目的

○主としてひとみ望遠鏡を使用して、風習や見頃、世間の注目に応じた様々な天体・現象を観察できる機会を提供することで、市民の宇宙・天文に対する興味・関心を引き出すとともに、天文知識向上に寄与する。

○ひとみ望遠鏡の見学機会を設け、望遠鏡の構造や仕組み、能力、観測方法等を説明し、天体観望への興

味・関心を喚起させる。

○天体観測への興味・関心が高い市民を対象に市民観察室望遠鏡を貸与することで、天文学の普及振興に寄与する。

○観測機材等の貸出しにより、天体観望会を開催する市民及び教員等を支援する。

(2) 業務内容

①定期観望会

毎週土曜日にひとみ望遠鏡を使用した天体観望会を実施する。年間 51 回。

月	主な観望天体
4	火星,アルギエバ,M35 (散開星団)
5	火星,ミザール,M3 (球状星団)
6	春の1等星,コル・カロリ,M3 (球状星団)
7	夏の1等星,ラス・アルゲティ,M13 (球状星団)
8	夏の1等星,アルビレオ,M13 (球状星団)
9	夏の1等星,アルビレオ,M15 (球状星団)
10	土星,海王星,M31 (アンドロメダ銀河)
11	土星,天王星,海王星
12	土星,天王星,海王星
1	木星,天王星,M42 (オリオン星雲)
2	木星,天王星,M42 (オリオン星雲)
3	木星,アルギエバ,M35 (散開星団)

②昼間の観望会

ひとみ望遠鏡を使用して昼間に観察可能な天体の観望会を東北文化の日および天文台まつりの昼間に実施する。

③その他の天体観望会

ひとみ望遠鏡や移動天文車ベガ号を必要としない天文現象について観望会を開催する。

月	日	曜	時間	タイトル	内容
3	3	火	18:30 22:30	特別観察会「皆既月食をみよう!!」	惑星広場で皆既月食の観察会を行う

④ひとみ望遠鏡案内

ひとみ望遠鏡を動かしながら、特長や性能を紹介する。

平日は 15:30 の 1 回、土日祝日は 11:00,12:30,14:00,15:30 の計 4 回実施する。

⑤観測機材等の館外貸出し

天体観望会を開催する市民及び教員等のために、観測機材の貸出しを行う。そのための貸出日の日程調

整と予約の受付を行う。また返却時に確認を行い、機器の点検も実施する。必要に応じて清掃、調整等も行う。

- ・清掃、調整清掃、調整は6月19日、10月16日、2月19日の年3回実施。

⑥観察室の貸出・管理

○観察室貸出

- ・観察室の貸出日を設定し、貸出しを行う。
- ・毎週土曜日の貸出日、それ以外の毎月2回の貸出日、及び小中高校生優先利用日の年間85日を設定する。
- ・土曜日以外の貸出日は新月前後に設定し、画像取得を目的とする利用者にも配慮する。
- ・小中高生優先利用日は学校長期休業期間中の7、8月の10日間を設定する。(7月27日から8月7日までの金曜日、土曜日を除いた計10日間)

○ライセンス講習会

望遠鏡利用のための資格取得講習会（ライセンス講習会）を実施する。

○ユーザーズミーティング

望遠鏡操作に関する注意事項の確認と望遠鏡利用者同士の情報交換の場、及びライセンス更新の機会として、望遠鏡利用者連絡会（ユーザーズミーティング）を開催する。なお、ユーザーからの要望により平日の開催を1回行なう。

月	日	曜	時間	タイトル	内容
6	6	金	19:00 20:00	第1回ユーザーズミーティング	望遠鏡操作に関する注意事項等のお知らせやライセンスの更新対応を行う。
9	7	日	19:00 20:00	第2回ユーザーズミーティング	望遠鏡操作に関する注意事項等のお知らせやライセンスの更新対応を行う。
11	9	日	15:00 17:30	ライセンスA講習会	新規利用者への望遠鏡利用のための資格取得講習会を行う。
12	7	日	19:00 20:00	第3回ユーザーズミーティング	望遠鏡操作に関する注意事項等のお知らせやライセンスの更新対応を行う。
12	14	日	16:30 19:00	ライセンスB講習会	ライセンスAを持ったユーザーに対する冷却CCDの利用資格取得講習会を行う。

3	1	日	19:00 20:00	第4回ユーザーズミーティング	望遠鏡操作に関する注意事項等のお知らせやライセンスの更新対応を行う。
---	---	---	---------------------	----------------	------------------------------------

⑦初心者のための望遠鏡講座

天体望遠鏡を使用してみたい市民に対して、望遠鏡の仕組みや操作を学んでもらう講習会を実施する。

月	日	曜	時間	タイトル	内容
7	19	土	16:00 18:00	はじめての望遠鏡教室 ～My 望遠鏡を作ろう～	望遠鏡による天体観察に興味を持つ市民を対象とした講座。市販の望遠鏡キットの組立てと操作練習を行う。
7	26				
8	2				
9	27	土	11:00 13:00	天体望遠鏡教室 ～初心者編～	市販の望遠鏡を入手したばかりの方や購入を検討されている方を対象に、経緯台式の望遠鏡の組立てと操作練習を行う。
11	1	土	14:00 17:00	天体望遠鏡教室 ～上級者編～	本格的な天体観察・撮影に興味がある方を対象に、赤道儀式望遠鏡の組立てと操作練習を行う。

⑧中期計画に関する取組み

- A2-2 多くの市民の日常に天文体験を届ける
 - ・特別観望会「皆既月食をみよう!!」の企画実施
- B1-1 天文体験や交流を重視したプログラムの充実
 - ・各種望遠鏡教室の実施

5-4 アウトリーチ業務

(1) 業務目的

施設内に留まらず、施設外の多くの市民の日常に天文体験の機会を提供する。

(2) 業務内容

①講師派遣

職員に対して、市内外を問わず関係機関や他の団体から講演会等の講師の依頼がある際には、他の業務に支障がない範囲で応じる。また、市内及び市近郊の小中学校・高等学校等からの依頼があった場合も同様に対応する。

②定期移動観望会

金曜日を中心に移動天文車ベガ号を仙台市内各所及び近郊に派遣し、ベガ号積載の20cmクーデ式望

遠鏡及び小型望遠鏡で天体観望会を実施する。天体を観測できない時には、星空の話や天文クイズ、ワークショップ等の天文教室を開催する。

月	日	曜	開催場所
5	2	金	海岸公園冒険広場
	9	金	七北田公園
	16	金	杜の広場公園
	23	金	西公園
	30	金	榴岡公園
6	19	木	泉岳自然ふれあい館：宮城教育大学附属特別支援学校中学部
7	4	金	七北田公園
	11	金	西公園
	18	金	桂市民センター
8	1	金	仙台市野草園
	29	金	大倉ふるさとセンター
9	12	金	海岸公園冒険広場
	19	金	杜の広場公園
	26	金	南中山市民センター
10	10	金	七郷市民センター
	17	金	七北田公園
	24	金	東中田市民センター
	31	金	西公園
11	4	火	泉岳自然ふれあい館：宮城野小
	14	金	田子市民センター
	21	金	杜の広場公園
12	5	金	三本松市民センター
	12	金	海岸公園冒険広場
	19	金	福室市民センター
1	9	金	七北田公園
	16	金	六郷市民センター
	23	金	西公園
2	13	金	杜の広場公園
	27	金	片平市民センター
3	13	金	海岸公園冒険広場

※仙台市内を中心に年間 60 回出勤する。上記以外の出動先は随時公募等により決定。

③臨時移動観望会

定期移動観望会では出動できない依頼先で移動天文車ベガ号を用いて観望会を実施する。

④依頼観望会の他団体へのオファー

移動天文車による観望会開催予定団体以外からの観望会開催依頼があった場合には、依頼先の了解を得たうえで他団体への紹介を行う。

⑤中期計画に関する取組み

OB1-1 日常と天文がつながる WS の実施

- ・講演会やベガ号（雨天時）における WS の開発と実施

OA2-2 多くの市民が集まる場所での出張観望会の実施

- ・出動先の調査と出動

5-5 大学・関係機関連携業務

(1) 業務目的

○天文や様々な専門分野と連携することにより、市民の星や宇宙への興味関心を高める。

○最新の天文学の情報を分かりやすく提供することにより、市民の天文知識の理解を深める。

(2) 業務内容

①大学・研究機関との連携

地域の大学や研究機関等と連携し、天文やその他の様々な専門分野の切り口からの話題提供により、市民の星や宇宙への興味関心を高めるとともに、最新の天文学の情報を分かりやすく提供する。

<大学・研究機関との連携>

月	日	曜	タイトル	内容
10	4	土	スペースラボ① 講師：内山哲治	宮城教育大学と仙台市天文台が共同で開催する体験型科学実験教室。全2回を予定。 時間：13:00-15:30 定員：20名 対象：小学校5・6年生、中学生
11	15	土	スペースラボ② 講師：笠井香代子	
12	6	土	スペースラボスペシャル 講師：高田淑子	宮城教育大学附属特別支援学校の生徒を対象とした講座を予定(貸館的利用)。

②社会教育施設との連携

地域の社会教育施設と連携し、様々な切り口から星や宇宙への興味関心を高める。

○野草園

<野草園とのコラボ企画>

月	日	曜	タイトル	内容
---	---	---	------	----

7/1 － 8/29			野草園×天文台コラボ企画展	プレショーギャラリーでの仙台市野草園と天文台による「七夕」をテーマとした企画展(予定)。
7	6	日	野草園×天文台コラボワークショップ「クラフトづくり」	野草園ならではの自然に親しめるワークショップ。七夕飾りづくり
8	1	金	星空を楽しむ会 ベガ号での天体観望会と芝生広場での観望会	仙台市野草園夜間開園イベントに伴う天体観望会。

③ブレインサポーター運営・管理

天文台の運営等についてアドバイスをいただける方を年度ごとに委嘱し、活動をしていただく。年に1回、天文台長名で委嘱する。

○ブレインサポーター集会の実施(7月を予定)

ブレインサポーター一覧 ※2025年2月現在			
NO	氏名	所属	委嘱分野
1	市川 隆	東北大学 名誉教授	天文学
2	伊藤 芳春	元聖和学園高等学校 副校長	観測
3	井上 邦雄	東北大学コトリ/科学研究センター センター長, 教授	物理学
4	井龍 康文	東北大学変動海洋エコシステム高等研究所(WPI-AIMEC) 特任教授	地球科学
5	大谷 栄治	東北大学 名誉教授	地球惑星科学
6	黒須 潔	仙台郷土研究会 副会長	仙台藩の天文学史
7	高田 淑子	宮城教育大学教育学部理科教育講座 教授	天文教育普及
8	千葉 柊司	東北大学大学院理学研究科 教授	天文学
9	長島 康雄	東北学院大学文学部教育学科 教授	天文教育普及
10	福島 邦幸	元宮城教育大学 教育支援コーディネイター	天文台学習
11	星野 誠	東北放送株式会社 TBC 気象台 気象予報士	気象学・広報
12	吉田 和哉	東北大学大学院工学研究科 教授	宇宙工学

④トワイライトサロン

土曜日の夜の賑わいを創出し、市民へ最新の天文学の情報を提供する。

⑤講座・講演会

天文学の啓蒙普及を図るための各種講座や講演会等を企画し、実施する。

<講座・講演会>

月	日	曜	タイトル	内容
---	---	---	------	----

4	20	日	アースデイ講演会	4月22日のアースデイに合わせた講演会。ブレインサポーターの井龍康文氏を講師に招く。
7	27	日	仙台市天文台×東北大学大学院理学研究科公開サイエンス講座 2025 年度第1回	東北大学大学院理学研究科天文学専攻の大向一行教授による宇宙初期天体や初代ブラックホールに関する講演会
2	21	土	仙台市天文台×東北大学大学院理学研究科公開サイエンス講座 2025 年度第2回 ※日程は2/21か3/14で調整中	東北大学大学院理学研究科地学専攻の古川善博准教授による、小惑星サンプルリターンや生命の起源についての講演会

⑥全国連携イベント

全国の社会教育施設と連携し、宇宙関連イベントを実施することにより市民が宇宙に興味を持つ機会を増やす。

- ・科学技術週間(4月18日-24日)関連イベント 一家に一枚ポスターの配布、アースデイ講演会

⑦中期目標に関する取組み

○OA1-2 日常と天文とをつなぐ企画の実施

- ・七夕をテーマとした野草園との企画展示の企画・実施

○OC2-1 天文学を学べるプログラムの充実

- ・東北大学理学研究科と連携したサイエンス講座の実施

○OD1-2 市民や研究者間の交流活性化

- ・年に1回ブレインサポーター集会を実施

○OE1-1 科学者・天文学者と市民との接点づくり

- ・宮城教育大学と連携したスペースラボの実施
- ・東北大学理学研究科と連携したサイエンス講座の実施
- ・ブレインサポーターによるアースデイ講演会の実施

5-6 天文情報提供業務

(1) 業務目的

- 時宜をとらえた天文事象の資料や情報を提供する
- 最新の天文学の情報を分かりやすく提供する
- 市民の天文に関する相談に応じ、適切なアドバイスを行う

(2) 業務内容

④天文相談

市民からの天文や宇宙に関する質問や相談に対して、台内だけではなく電話やウェブサイト、郵送、FAXなどでも対応し相談者の立場に立った回答を行う。

- ・ 7月 夏休み自由研究コーナー開設

②天文情報の掲示

以下の要領で天文情報を掲示する。

○ひとみ望遠鏡ギャラリー展示

ひとみ望遠鏡について紹介するパネルや撮影された画像を公開する。

○観望待機室ギャラリー展示

観望会中に待機しているお客様に対する情報提供として、季節毎の主な観望天体を掲示する。

○観測ギャラリー展示

ひとみ望遠鏡での観測の成果の公開として、学会等での発表に使用したポスターを掲示する。

③天文情報の発信

仙台近郊で見られる天文現象を、各種媒体を通して発信する。なお、主な発信媒体はウェブサイトとX (旧 Twitter) とする。更に現象によってそれ以外の媒体でも発信する。

月	提供内容
4	金星最大光度(-4.8 等)
8	ペルセウス座流星群極大(条件:悪)
	プレアデス星団食
	金星と木星の接近
	伝統的七夕
9	皆既月食
10	中秋の名月
	センダイヘンジ
11	後の月
	プレアデス星団食
	土星の環の傾きが極細
12	ふたご座流星群極大(条件:良)
	プレアデス星団食
1	2026 年天文現象一覧
	しぶんぎ座流星群極大(条件:悪)
	レグルス食
2	センダイヘンジ
3	レグルス食
	皆既月食
随時	各月の天文現象(毎月 1 日)
	月の満ち欠け

	二十四節季
	月と惑星の接近
	水星・金星最大離角
その他	かんむり座T星 新星爆発
	天文台のあゆみと主な天文現象
	星図カレンダー
	惑星の見ごろ

③望遠鏡相談

市民の望遠鏡に関する相談に応じ、適切なアドバイスを行う。また、市民の望遠鏡購入の要望にも応える。

④中期計画に関する取組み

○A2-1 多くの市民の日常に天文情報を届ける

- ・SNSによる天文情報提供回数を増やす
- ・皆既月食のライブ中継を行う

6 資料収集業務

(1) 概要

○博物館として、世間から注目された天体や天文学的に貴重な現象を記録する。

○博物館として、記録した天体や現象を発信・説明する。

(2) 業務内容

①資料収集

年間計画を作成し、天文現象、惑星などの資料収集を行う。また、火球や彗星の出現などの突発的な現象も記録する。収集した資料は長期的な利用を見据えて保存すると同時に、ウェブサイト等で公開する。

月	日	撮影・収集予定の天体・現象
4	13	最小の満月
7-8	-	天の川
8	12,13	ペルセウス座流星群
8	16	プレアデス星団食
9	8	皆既月食
11	-	土星
11	5	最大の満月
12	13,14,15	ふたご座流星群
3	3	皆既月食
随時		太陽黒点（撮影、スケッチ）

	太陽フレア
	低緯度オーロラ
	彗星

②観測データ整理保管・天体画像整理保管

天文台で取得した観測データや天体画像を整理保管し、財産となる資料を損失、状態悪化させないようにする。

③図書・メディア管理

業務を円滑に行うため、天文台で購入した天文図書・メディア資料の管理を行う。

7 メディア制作業務

(1) 業務目的

本施設のビジュアルアイデンティティに基づき各業務で発生する制作物を円滑に制作する。

(2) 業務内容

①館内ディスプレイ制作

季節行事や天文に関するディスプレイを制作する。

②広報、配布物制作

天文台が主催する事業や投映するプラネタリウム番組のポスターやちらしを制作する。

③展示物制作

展示室や各種ギャラリー、企画展等の展示物の制作を行う。

④Web・SNS 素材制作

イベントや天文現象に応じて、ウェブサイトや SNS に掲載するバナーや画像、動画を適宜制作する。

⑤プラネタリウムコンテンツ制作

プラネタリウムのプログラム制作、作画、動画制作、音響制作、番組据付を行う。

⑥VI 制作

ブランドデザインガイドに基づき VI を制作する。

⑦館内表示制作

案内看板等の掲示物を作成する。

⑧グッズ制作

仙台市天文台のオリジナルグッズを制作する。

8 広報業務

(1) 業務目的

本施設の業務内容や利用方法を広報・周知することにより、本施設の利用促進及びアイデンティティの浸透を図る。

(2) 業務内容

①イベント情報提供

- 施設アイデンティティに則した季刊誌「ソラリスト」に情報を掲載し、館内及び市内外に配布する。
- ウェブサイトや市の広報誌に情報を掲載するとともに、地元の情報誌等にも情報を提供する。
- 注目度の高い天文現象やイベントについてはプレスリリースを行い、地元テレビ番組やラジオ等に出演し、告知を行う。

②広報物制作・管理（ソラリスト・リーフレット）

- 本施設の事業や利用方法を周知するために、季刊誌「ソラリスト」やちらし、リーフレットを制作・配布する。

- 制作した広報物は、残部数を管理するとともに、より効果的な場所へ配布する。

<ソラリスト>

- ・6月 夏号配布
- ・9月 秋号配布
- ・12月 冬号配布
- ・3月 春号配布

③ウェブサイト・SNS 運用

- 注目度の高い天文現象や最新の天文情報、施設情報等は天文台ウェブサイトに公開し、タイムリーな情報提供を行う。

- 更新した情報は、X（旧 Twitter）や Facebook などの SNS を用いて適時拡散する。

④SMMA 対応

- 仙台市内の文化施設が所属している仙台・宮城ミュージアムアライアンス(SMMA) に継続して登録する。

- 事務局が制作する広報物への情報提供等を行う。

⑤取材対応

- 各種広報物の配布やウェブサイトを活用したイベント告知、プレスリリース等を行う。

⑥視察対応

- 他施設からの視察を受け入れ、施設案内やプラネタリウム紹介、運営方針などの説明を行う。

⑦記録

- 広報活動及び天文台利用促進事業で活用するため、各種イベントの様子を写真や動画で撮影する。
- 撮影したデータは事業ごとに分類し、取材時や資料提供依頼時にすぐ提供できるよう整理・保管する。
- 新聞や雑誌などの記事をまとめたスクラップファイルを作成する。

⑧年報作成

- 年度毎に活動の報告を年報にて行う。

⑨中期計画に関する取組み

- OE1-2 Well-being な事例の発信

- ・ブレインサポーターの活動事例をウェブサイト等にて発信する

9 窓口業務

(1) 業務目的

来館者の施設利用が円滑に行われるよう、各種案内や対応を行う。

(2) 業務内容

①総合案内

施設の基本情報やスケジュール、イベント等を来館者へ分かりやすく案内する。

○デジタルサイネージに当日のイベントスケジュールを表示する。

○来館者とのコミュニケーションを大切に、来館者のニーズに合わせた案内を行う。

②放送案内

プラネタリウムの入場開始やイベント開催等を告知する放送案内を実施する。

③団体利用受付

団体での利用希望者を対象に、予約を受け付ける。

○予約受付簿とアクセス予約システムを併用し、的確な予約受付に努める。

○予約団体には予約確認書を送付し、予約内容を相互に確認する。

④一般団体受入れ

団体利用者の円滑な案内を目的に、受入れ業務を行う。

○団体人数や館内状況を把握し、安全に配慮した団体受入れを行う。

○団体ごとの希望等を把握し、可能な限り対応する。

○配慮が必要な団体や個人には、先方の申し出に沿って可能な限り合理的配慮を行う。

⑤入場管理

観覧料の徴収、チケットの発券、チケットの確認を適切に行う。

⑥拾得物・迷子の対応

拾得物及び迷子への対応を行う。

○拾得物・迷子発生時は放送案内による呼び出しを行う。

○拾得物発生時にはフローに沿って適切に対処する。

○拾得物は適切に管理し、定期的に交番へ届け出る。

⑦急病人対応

急病人が発生した場合の一次対応を行う。

○急病人は救護室に案内し、必要に応じて応急処置や医療機関の案内を行う。

10 管理業務

(1) 業務目的

運営業務及び管理業務を円滑に行うために、各種事務及び経理を的確に行う。

(2) 業務内容

①入館者・参加者集計

入館者数及び各種事業の参加者数を正確に把握し、各種文書・報告書に反映させる。また、統計的な処理も行う。

②観覧料・使用料徴収および納付(金券、減免を含む)

正確に徴収し、速やかに納入する。

③ファンサポーター運営・管理

天文台のにぎわい創出を支援するお客様を募り、その管理と運用を行う。

○年間パスポート加入者を中心に随時募る。

○会費と特典の見直しを行う。

④年間パスポート運営・管理

年間パスポートの発行及び観覧料の徴収、個人情報の管理を行う。

○年間パスポートの発行と観覧料徴収は随時行う。

⑤業務日誌作成

後日の参考になるよう作成する。お客様からのご意見等も記録する。

⑥備品管理(備品台帳)

年1回、棚卸を実施する。

⑦物品管理

常に在庫を確認し、適宜補充する。

⑧文書発送・収受・管理

文書の発送・収受の履歴を残す。収受文書・資料の整理を行う。

⑨自販機管理、調整

売上確認、納品業者との連絡(品切れ・故障)をする。

⑩売店収支報告書作成

年度末に仙台市に滞りなく報告する。

⑪職員の福利厚生(社員旅行・懇親会等)

コミュニケーションを大切にした行事の企画と懇親会の運営。

⑫得意先対応(カレンダー、寄付等)

得意先(団体・個人)に、カレンダーを送付する。また、寄付等の申し出に対応する。

○カレンダー送付は年に1回。寄付への対応は適宜行う。

⑬諸室管理

○予約が必要な学習室・会議室・加藤小坂ホールの利用調整、及び実験室の利用調整

○救護室の衛生消耗品の補充

○スタッフルーム・印刷室・資料室の整理整頓

⑭キャッシュレス化の対応

キャッシュレス化への移行をスムーズに行えるよう準備を進める

11 修繕一次対応業務

(1) 業務目的

来館者の利用に支障が無いよう、各設備担当企業と不具合状況を共有し、施設・設備の不具合に対処する。

(2) 業務内容

不具合事象は台内不具合対応フローに沿って対処する。

下記項目の不具合時の対応研修を実施する。

①情報システム不具合の対応

○情報機器端末、ネットワーク接続機器の管理

○情報機器更改対応

②展示室不具合の対応

○照明機器のランプ交換(随時)、月度修繕作業依頼(毎月)

③望遠鏡不具合の対応

○日常点検開館日(毎日)、定期点検作業への情報共有

④移動天文車の保全、修理対応

○日常点検出勤時(毎回)、定期保守点検(年2回)

⑤プラネタリウム不具合の対応

○日常点検(開館日毎日)、定期保守点検(年4回)

以上